



刈谷市

令和4年度 予算のあらまし



令和4年3月26日にスマートインターチェンジが刈谷ハイウェイオアシスに開通しました。
産業の生産性向上や交通渋滞の緩和、周辺地域の活性化等が期待されます。

「元気・笑顔・希望のまちづくり」 をめざして

刈谷市長

稲垣 武

Inagaki Takeshi

私たちと新型コロナウイルスとの闘いが始まり2年以上が経過いたしました。その間、市民や事業者の皆さまには、不要不急の外出の自粛や休業など、繰り返される制約に対してご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。また、感染拡大を防ぐため、日々ご尽力いただいている医療従事者をはじめとする関係者の皆さまに改めて深く敬意を表します。

令和4年度予算は、市税収入が新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復すると見込む一方で、未だコロナ禍の終息の兆しが見えず、内外経済の下振れリスク等により、歳入回復の鈍化も予想されます。

こうした中、本市では、ウィズコロナの下で感染拡大防止と経済活動の両立を図りながら、ポストコロナ社会を見据えた、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や脱炭素社会の実現に向けた取組を進めてまいります。

また、今年度には感染症による社会情勢の変化などを踏まえて「第8次刈谷市総合計画」を策定いたします。本市の最上位計画として、先人たちの意思をしっかりと受け継ぎながら、未来を切り拓く計画としてまいります。今後も皆さまが安心して元気に住み続けられ、笑顔に満ちあふれ、未来へ希望が持てるよう「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現を目指し、各種施策に取り組んでまいります。

この冊子は、本市の各種施策や財政状況をわかりやすくまとめたものですので、活用していただければ幸いです。



目次

予算の規模	1	輝こう！暮らしと仕事	10
当初予算額・市税の推移（一般会計）	1	主な財政指標の推移	11
一般会計の状況	2	基金の状況	12
DXの推進・脱炭素社会の実現	4	市債の状況	12
守ろう！安心安全と健康	5	市民1人当たりの予算額（用途別）	13
育てよう！子どもと未来	7	刈谷市の家計簿	13

※掲載している事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止等に伴い、延期、中止等になる場合があります。

予算の規模

一般会計の令和4年度当初予算額は620億円で、前年度当初予算額と比較して2.5%の増となり過去最大の規模となります。

土地区画整理事業、国民健康保険などの特別会計の合計は243億7,355万5千円で、前年度と比較して4.2%の増、水道事業及び下水道事業の企業会計の合計は98億7,346万1千円で、前年度と比較して8.6%の減です。

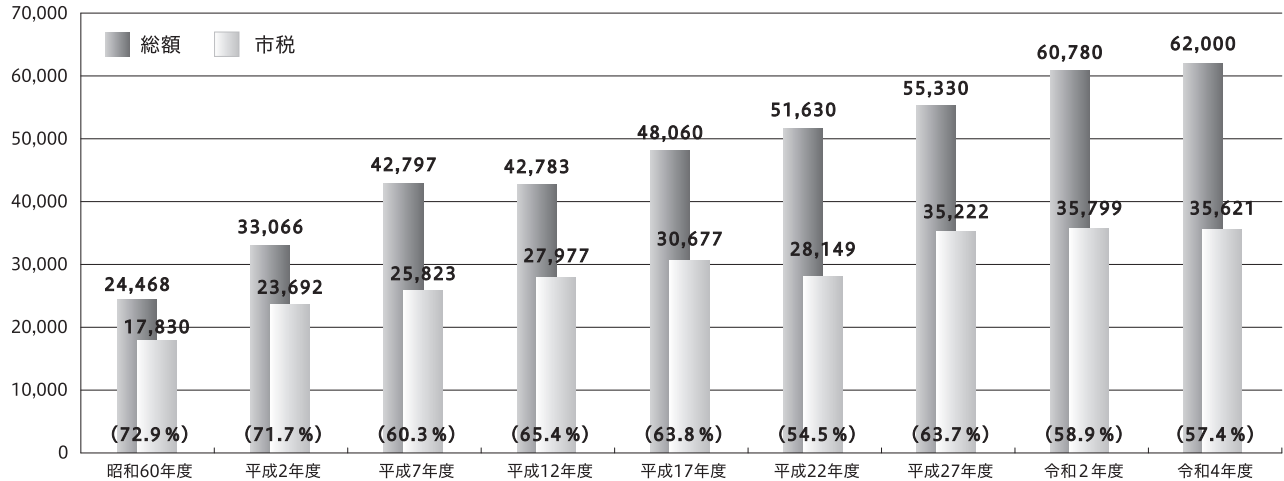
一般会計、特別会計及び企業会計の総合計は962億4,701万6千円となり、前年度と比較して1.7%の増となります。

(単位：千円、%)

会計名	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	前年度比	
			差引	伸率
一般会計	62,000,000	60,470,000	1,530,000	2.5
特別会計	24,373,555	23,388,605	984,950	4.2
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	855,288	893,517	△38,229	△4.3
刈谷野田北部土地区画整理事業会計	287,521	142,032	145,489	102.4
国民健康保険会計	11,655,829	11,332,310	323,519	2.9
後期高齢者医療会計	2,181,158	2,081,264	99,894	4.8
介護保険会計	9,393,759	8,939,482	454,277	5.1
企業会計	9,873,461	10,801,651	△928,190	△8.6
水道事業会計	4,294,477	5,099,177	△804,700	△15.8
下水道事業会計	5,578,984	5,702,474	△123,490	△2.2
合計	96,247,016	94,660,256	1,586,760	1.7

当初予算額・市税の推移（一般会計）

(百万円)



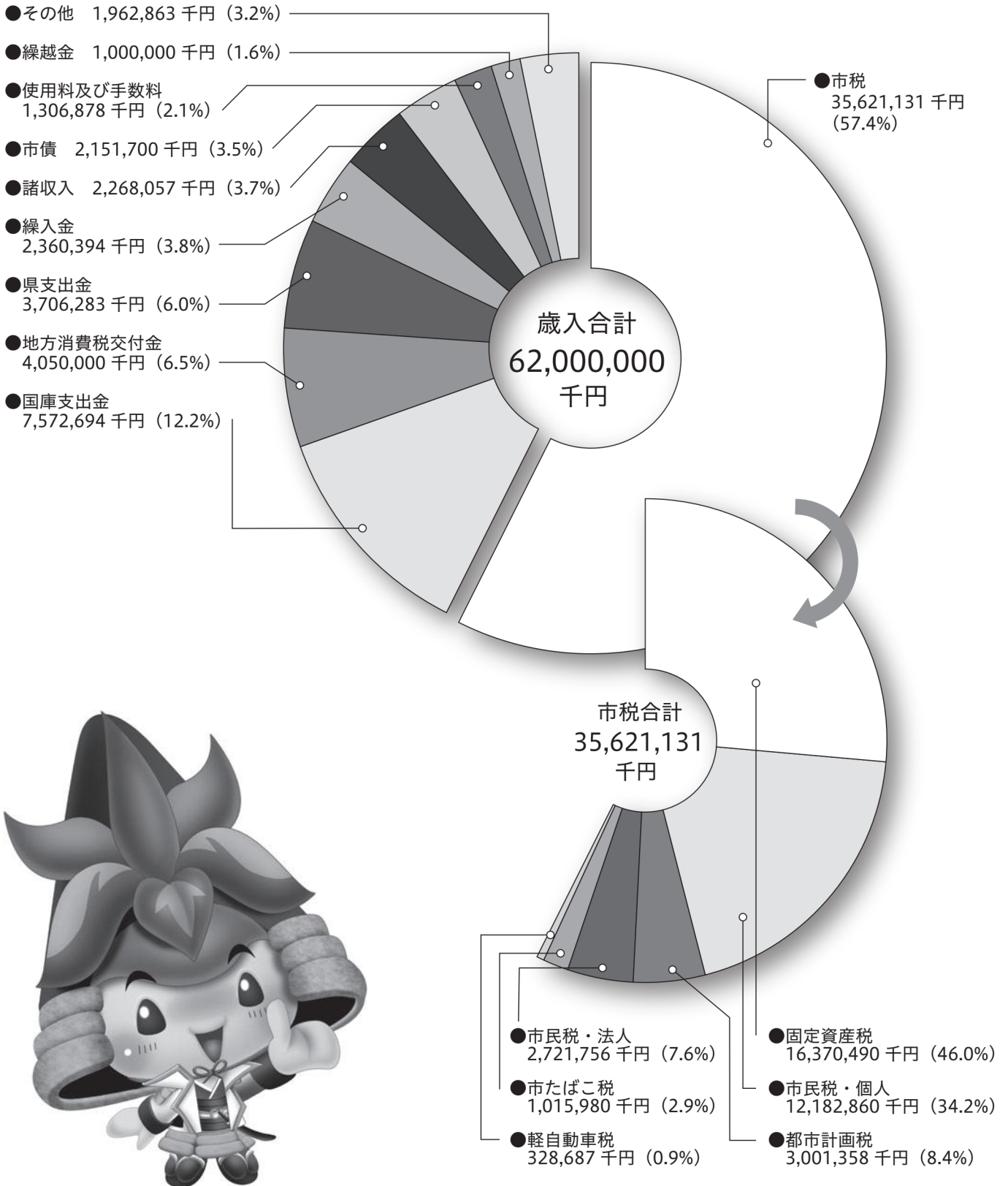
	昭和60年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	令和2年度	令和4年度
人口 (4月1日現在)	110,643	118,267	124,625	131,140	139,994	145,245	148,419	152,823	152,751
世帯数 (4月1日現在)	36,949	40,922	44,761	48,569	54,659	60,140	62,409	67,179	68,102

※昭和60年度以降の5年毎の額と令和4年度の額を表記しています。

一般会計の状況

歳入

歳入の根幹である市税は、356億2,113万1千円で前年度当初予算額と比較して13.8%の増を見込んでいます。歳入全体に占める割合は、57.4%です。基金等からの繰入金23億6,039万4千円は、財政調整基金や都市交通施設整備基金、公共施設維持保全基金などを活用しています。市債21億5,170万円は、小学校体育館空調設備整備事業などの財源とします。

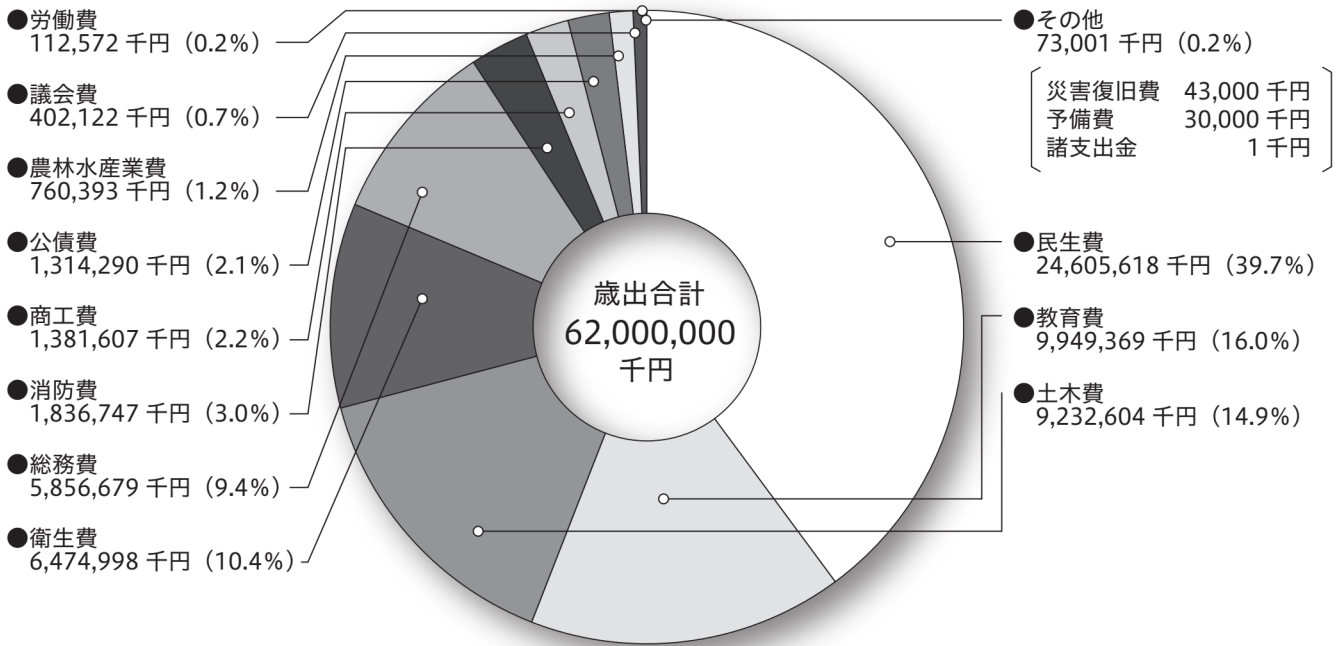


歳出

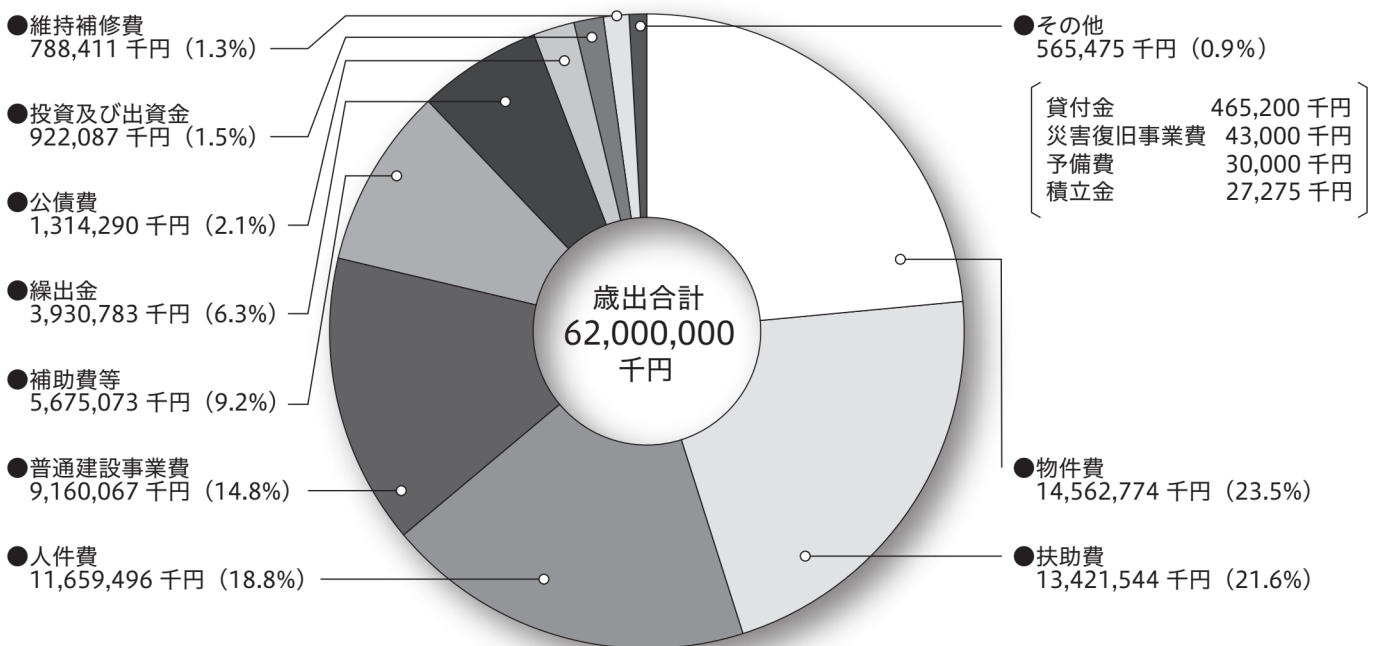
歳出の構成比で最も大きな割合を占めているのは、39.7%の民生費 246 億 561 万 8 千円です。その主なものは、児童手当支給事業や私立保育所運営支援事業などです。次に、教育費 16.0%、99 億 4,936 万 9 千円です。そして土木費の 14.9%、92 億 3,260 万 4 千円と続きます。

なお、歳出に占める普通建設事業費などの投資的経費の割合は、14.9%です。

〔目的別内訳〕



〔性質別内訳〕



DX（デジタルトランスフォーメーション）による新しい情報技術を活用した効率的な行政運営や、脱炭素社会の実現に向けた取組の推進により、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めます。

新 スマートシティ推進事業

30,550 千円

民間企業などとの協働のもと、ICTなどの新技術や各種データを活用したスマートシティを推進することにより、社会課題の解決を図り、持続可能なまちづくりを目指します。

- スマートシティ推進協議会の設置及び開催
- スマートシティ構想の策定
- 実証実験の実施

ICT活用推進事業

60,375 千円

迅速で的確なサービスと業務の効率化を図るため、新しい情報技術の導入などを行います。

- 市民公開型GIS（地理情報サービス）
- 富士松支所オンライン窓口用Web会議システム
- ペーパーレス会議システム
- AI議事録作成システム



新 公共施設LED化事業

8,000 千円

環境負荷及び維持管理経費の軽減を図るため、公共施設の照明機器のLED化を促進します。

- 対象施設 中央図書館始め 10 施設
- リース期間 10 年

拡 道路管理事業

2,068 千円

道路の安全性の向上及び維持管理の効率化を図るため、AIにより道路の異常を検知し、位置情報や画像などを管理者へ提供する道路維持管理支援システムを導入します。

- 公用車に専用カメラ・車載器の取付 3 台
- 専用スマートフォンの導入
- 道路維持管理支援システム（クラウドサービス）の導入

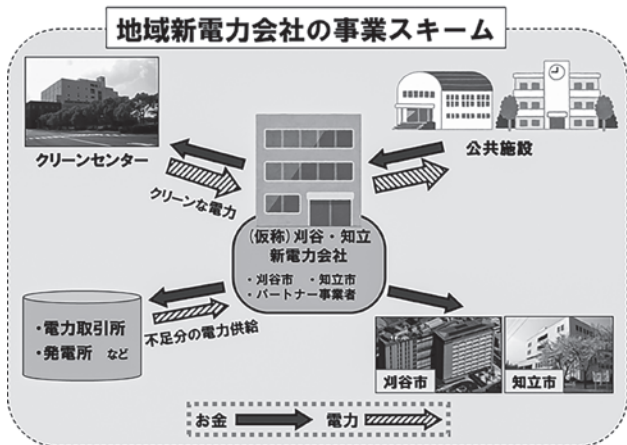
運用イメージ



新 地域新電力会社出資事業

5,000 千円

地域の脱炭素化、エネルギーの地産地消及び地域経済の活性化を図るため、刈谷市、知立市及びパートナー事業者の共同出資による地域新電力会社を設立するための資本金を出資します。



新 賦課・徴収事務システム改修事業

40,582 千円

市民などの利便性の向上及び事務の効率化を図るため、税の賦課・徴収の手続などを電子化します。

- 納税通知書に地方税統一QRコード※を印刷
- 軽自動車検査協会と軽自動車税種別割に関する情報連携
- 地方税共通納税システム税目拡大
 - (1) 個人住民税（普通徴収）
 - (2) 固定資産税・都市計画税
 - (3) 軽自動車税種別割
 - (4) 国民健康保険税（普通徴収）

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

公園施設設置事業

58,900 千円

利用者の安全性や利便性の向上とともに、環境負荷及び維持管理経費の軽減を図るため、ナイター照明灯のLED化などを行います。

- 狩野公園テニスコート ナイター照明灯LED化工事 30 基
- 竜ヶ根池北広場 あずまや設置工事
- 石仏公園ほか フェンス等設置工事



誰もが笑顔で不安のない生活を送ることができるよう、年齢や障害の有無にかかわらず、いきいきと生活できる環境を整備するとともに、あらゆる災害や犯罪、交通事故から命を守り、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

げんきプラザ整備事業

52,394 千円

安心安全で効果的な運動ができる場所を提供するため、総合健康センター内「げんきプラザ」のサテライト施設を開設します。

- 施設改修工事
- トレーニング機器購入
- 事業箇所 北部生涯学習センター（井ヶ谷町）
- 開設日 令和5年4月（予定）



総合健康センター「げんきプラザ」

新 介護施設等整備費補助事業

89,853 千円

認知症高齢者グループホーム及び看護小規模多機能型居宅介護事業所が、開設時から安定した質の高いサービスを提供できる体制整備を支援するため、施設整備費及び開設準備経費に対して補助金を交付します。

- 認知症高齢者グループホーム
 - (1) 事業箇所 今岡町
 - (2) 定員 18人（9人×2ユニット）
 - (3) 開所予定 令和5年度
- 看護小規模多機能型居宅介護事業所
 - (1) 事業箇所 未定
 - (2) 定員 29人
 - (3) 開所予定 令和5年度以降（令和4年度公募予定）

拡 介護人材確保・育成支援事業

1,571 千円

新たな介護人材を確保し、安定的な介護保険サービスの提供の継続を図るため、介護職員初任者研修費について、事業者向けの補助に加え、新たに個人向けの補助を行います。

- 対象者 市内に住所を有する個人で、申請時点において介護サービス事業所に勤務していない人
- 補助率 2分の1
- 補助額 上限5万円

拡 高齢者日常生活支援事業

4,303 千円

在宅のひとり暮らし高齢者などの、日常生活における安全確保及び不安解消を図るため、貸与する緊急通報機器を固定型から携帯型（はいかい症状のある人については位置情報検索機能付き）に変更するとともに、新たに安否確認のためのセンサーを貸与します。

- 対象者
 - (1) 65歳以上のひとり暮らしの人
 - (2) はいかい症状のある人
（認知症の状態でも要支援・要介護認定を受けている人）



緊急通報機器（イメージ）



センサー（イメージ）

拡 タクシー料金助成事業

61,084 千円

障害者及び高齢者の外出支援の拡充を図るため、タクシー料金助成利用券の交付対象者に、新たに自動車税及び軽自動車税種別割の減免を受けている人を加えます。



新 基幹型地域包括支援センター整備事業

6,700 千円

高齢者福祉の充実を図るため、令和4年度に社会福祉協議会内に新設される（仮称）刈谷市基幹型地域包括支援センターが、令和5年度から市役所で運営を開始できるよう庁舎を改修します。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

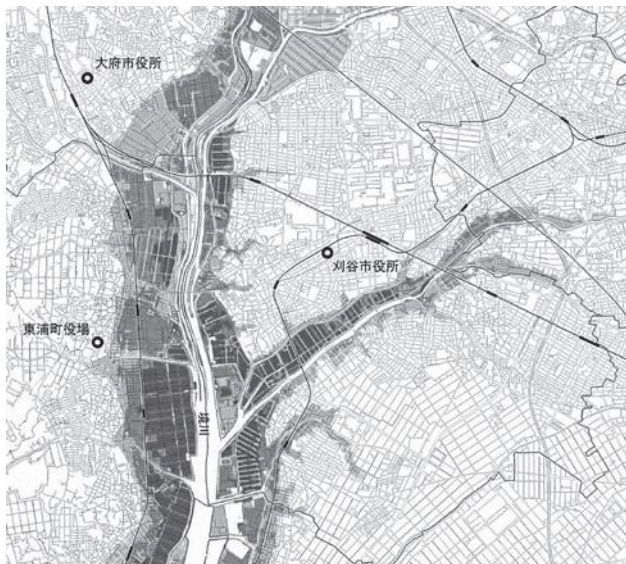
930,561 千円

新型コロナウイルス感染症の発症及び重症化を予防するため、ワクチン接種券の送付、相談体制の確保、個別・集団・職域接種の実施などを行います。

新 高潮ハザードマップ作成事業

2,508 千円

市民の防災意識の向上を図るため、高潮ハザードマップを作成し全戸配布するとともに、外国語版（英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語）データを公開します。



愛知県高潮浸水想定区域図（令和3年6月11日指定）

新 救援物資物流体制構築事業

4,000 千円

市民の生命や財産を災害から守る体制を構築するため、災害時における防災備蓄品などの輸送業務を適正かつ円滑に実施するためのマニュアル策定及び訓練を行います。

- 災害初動期（発災から3日目まで）の物資物流訓練
- 災害応急期（発災から4日以降）のマニュアル策定

公園再整備事業

255,255 千円

近隣公園の再整備に合わせてウォーキングコースや健康遊具を設置することにより、市民の健康増進の場を創出するとともに、公園施設の充実を図るため、トイレの洋式化などを行います。

- 日高公園再整備工事 約 1.9ha
- トイレ改修工事
- ベンチ更新工事



拡 災害対策管理事業

48,208 千円

災害時の支援体制を強化するため、備蓄倉庫内の備蓄品を計画的に更新するとともに、福祉避難所に要配慮者用の備蓄品を配備します。

- 大人用おむつ及びカセットガスボンベの更新及び追加配備
- 福祉避難所に要配慮者用のストーマ装具などの備蓄品を配備

水防倉庫整備事業

113,671 千円

水防力の向上を図るため、基幹水防倉庫及び資器材などの整備を行います。

- 事業箇所 今川町、一ツ木町



拡 市民館施設管理事業

8,505 千円

利用者の安心を確保するとともに、安心安全な地域づくりを推進するため、コミュニティ活動の拠点である市民館にAEDを設置します。

- 全市民館にAEDを設置



市道 2-485 号線他道路新設改良事業

127,700 千円

歩行者が安心して通行できる道路環境を整備するため、道路拡幅による歩道整備と電線類を地中に埋設します。

- 道路新設改良工事 延長 180 m、幅員 10 m
- 事業箇所 銀座ほか

先人たちが育んできた歴史や文化を継承するとともに、次代を担う子どもたちの健やかな成長を育み、未来に夢と希望を持てるまちづくりを進めます。

拡 多胎家庭等支援事業

212,645 千円

多胎家庭などの保護者が安心して育児ができる環境を整えるため、妊婦健康診査費用の基本健診費用を従来よりも5回分多く助成するほか、乳幼児健診時のサポーター派遣支援の対象に、3歳児健診を追加します。



拡 ひとり親家庭等自立支援事業

400 千円

ひとり親家庭の生活の安定を図るため、養育費に関する公正証書などの作成に要した費用を助成します。

- 対象者 ひとり親家庭の母又は父で20歳未満の児童を扶養している人
- 対象経費 公正証書などの作成に要した手数料など
- 給付額 上限4万円

双葉保育園大規模改造事業

484,702 千円

施設の保全及び良好な保育環境の維持を図るため、老朽化した園舎の大規模な改修を行います。

- 内装及び設備の改修工事ほか
総事業費 554,200 千円
(令和3年度 69,498 千円)
(令和4年度 484,702 千円)

東刈谷保育園大規模改造事業

98,000 千円

施設の保全及び良好な保育環境の維持を図るため、老朽化した園舎の大規模な改修を行います。

- 内装及び設備の改修工事ほか
総事業費 504,220 千円
(令和4年度 98,000 千円)
(令和5年度 406,220 千円)

新 おくやみ窓口開設事業

3,522 千円

来庁者の負担軽減及びサービスの向上を図るため、故人に関する市役所内での手続を、1箇所ですべて可能な「おくやみ窓口」を開設します。

- 開設場所 市役所1階
- 開設時期 令和4年7月予定
- 対象者 市内に住民票があった故人の遺族など

市民休暇村大規模改造事業

675,250 千円

施設の利用環境の向上及び市民の福祉の増進を図るため、老朽化した施設などを更新するとともに、時代の変化や利用者ニーズを的確に捉えたりリニューアルを行います。

- 内外装、設備及び外構の改修工事
(1) 総事業費 964,642 千円
(令和3年度 289,392 千円)
(令和4年度 675,250 千円)
(2) 延床面積 3,745㎡
- 事業箇所 長野県下伊那郡下條村
- 令和4年7月リニューアルオープン



拡 放課後児童クラブ運営事業

271,930 千円

児童の育成支援環境の向上を図るため、地域特性や利用者ニーズに対応した祝日開設を開始するとともに、平日の支援員配置体制を強化します。

- 一部クラブを拠点とした祝日開設の実施
(令和4年9月試行予定)
- 配慮が必要な児童に対する支援員の増員
- 土曜日開設について拠点開設へ移行
(令和4年9月試行予定)

拡 個人番号カード交付事業

32,190 千円

マイナンバーカードの普及促進を図るため、気軽にカードを申請し、円滑に交付を受けることができる環境を整備します。

- 申請受付専用窓口の新設
- 関係書類用記載台の設置
- 交付予約・管理システムの導入
- その他事務手続に必要な機器などの購入



小中学校体育館空調設備整備事業

1,137,938 千円

教育環境の向上及び避難所機能の強化を図るため、体育館及び武道場に空調設備を設置します。

- 空調設備設置工事（小学校）
- 実施設計（中学校）

**新 小中学校体育館トイレ等改修事業**

71,000 千円

教育環境の向上及び避難所機能の強化を図るため、体育館及び武道場のトイレの改修を行うとともに、出入口のバリアフリー化を行います。

- 基本設計及び実施設計

富士松東小学校大規模改造事業

362,700 千円

施設の保全及び良好な教育環境の維持を図るため、老朽化した校舎の大規模な改修を行います。

- 北舎の内外装及び設備の改修工事ほか
- 中舎及び南舎の実施設計

拡 子ども・若者支援事業

6,396 千円

ひきこもりやニートなどの困難を抱える子ども・若者の健全な育成を図るため、総合相談窓口の実施を週1回から2回に拡充するほか、子ども・若者の居場所を開設します。

- 子ども・若者総合相談窓口
 - (1) 対象者 概ね40歳までの子ども・若者及びその家族
 - (2) 実施日 土曜日及び平日の週2回
 - (3) 場所 子ども相談センター
- 子ども・若者の居場所
 - (1) 対象者 概ね40歳までの子ども・若者及びその家族
 - (2) 実施日 令和4年10月から月2回
 - (3) 場所 城町図書館（予定）

富士松南小学校体育館改築事業

342,470 千円

教育環境の向上及び避難所機能の強化を図るため、空調設備やバリアフリートイレを備えた体育館に改築します。

- 総事業費 729,870 千円
 - （令和4年度 342,470 千円）
 - （令和5年度 358,770 千円）
 - （令和6年度 28,630 千円）
- 体育館建設工事
- プール解体工事

**住吉小学校擁壁改修事業**

35,552 千円

児童の安全を確保するため、擁壁及び法面の改修工事を行います。

- 擁壁改修工事
 - (1) 総事業費 83,552 千円
 - （令和2年度 48,000 千円）
 - （令和4年度 35,552 千円）
 - (2) 規模 擁壁 125 m

拡 心の教室相談員事業

8,020 千円

児童の健やかな学校生活を支援するため、中学校に配置している心の教室相談員を全小学校に配置し、児童が悩みなどを気軽に相談できる環境を提供します。

第8次刈谷市総合計画策定事業

7,080 千円

市の現状や特性を踏まえ、新型コロナウイルス感染症流行などの社会経済情勢や市民ニーズの変化を反映し、新たなまちづくりの指針となる第8次刈谷市総合計画を策定します。

- 計画期間
 - (1) 基本構想 令和5年から令和24年まで
 - (2) 基本計画 令和5年から令和14年まで

新 加藤与五郎生誕 150 年記念事業

1,950 千円

名誉市民である加藤与五郎博士の功績を市民に広く知ってもらい、後世に伝えていくため、博士の生誕 150 年を記念したイベントなどを開催します。

■講演会、ワークショップの開催（予定）

- (1) 日程 11 月 6 日
- (2) 場所 南部生涯学習センター

■特別展示の開催（予定）

- (1) 日程 11 月頃
- (2) 場所 南部生涯学習センター

■地区住民による関連事業への補助



歴史博物館企画展開催事業

24,599 千円

歴史や文化財に触れる機会を提供するため、刈谷やその周辺の地域の歴史を紹介するほか、さまざまな歴史資料を展示する企画展を開催します。

■伊勢物語とかきつばた展

- (1) 事業費 8,523 千円
- (2) 会期 4 月 23 日～6 月 5 日

■TSUNAGU 展

- (1) 事業費 4,689 千円
- (2) 会期 7 月 16 日～9 月 4 日

■深溝松平家展

- (1) 事業費 11,387 千円
- (2) 会期 10 月 8 日～11 月 20 日



【重要文化財】紙本着色八橋図
尾形乾山筆（国有品）

(仮称) 逢妻川河川敷運動広場整備事業

15,000 千円

市民のスポーツ需要への対応と健康増進を図るため、逢妻川河川敷にサッカー場や多目的広場などのスポーツ施設を整備します。

- 実施設計 約 3.8ha
- 事業箇所 逢妻町

美術館企画展開催事業

69,706 千円

質の高い美術品や展示物に触れる機会を提供するため、著名な美術家や絵本作家の企画展を開催します。

■田島征三展

- (1) 事業費 40,676 千円
- (2) 会期 4 月 23 日～6 月 12 日

■馬場のぼる展

- (1) 事業費 29,030 千円
- (2) 会期 9 月 17 日～11 月 6 日



「ちからたろう」
昭和 42 年 田島征三



「11 ぴきのねことあほうどり
リトグラフ（色校用）」
昭和 47 年 馬場のぼる

夢と学びの科学体験館 特別企画展開催事業

27,000 千円

子どもたちに科学の楽しさに触れる機会を広く提供し、次代を担う人材を育成するため、学校などの長期休業期間を中心に、科学に関連した体験型の展示や魅力的なプラネタリウム番組の放映などを行います。

ウィングアリーナ刈谷等施設改修事業

20,044 千円

市民のスポーツ需要への対応と健康増進を図るため、2026 年開催予定のアジア競技大会、第 3 種公認認定などに向けて施設機能を拡充します。

■ウィングアリーナ刈谷

- (1) 更衣室等空調設備改修工事
- (2) LED 照明改修設計

■ウェーブスタジアム刈谷

- (1) バリアフリー改修設計
- (2) 第 3 種公認認定検定員による事前検査

■グリーングラウンド刈谷 天然芝部分張替え修繕



誰もが笑顔で暮らし、働き続けることができるよう、自然と調和した快適な都市空間の形成とバランスの取れた産業振興を図り、魅力と活力にあふれるまちづくりを進めます。

市道01-4号線他道路新設改良事業 (刈谷南北縦貫道路)

130,562 千円

歩行者の安全と円滑な交通を確保するため、今川町交差点の形状を適正化するとともに、市道01-4号線の右折2車線化を行います。

- 交差点改良工事 1箇所
- 事業箇所 今川町

JR刈谷駅総合改善事業

538,941 千円

JR刈谷駅の通勤・通学時などにおけるホームなどの混雑を解消し、安全性の確保及び利便性の向上を図るため、駅の改良を行います。



JR刈谷駅 (イメージ)

ウイングデッキ整備事業

237,180 千円

刈谷駅周辺の「人を引き寄せる回遊とにぎわいのあるまちづくり」に向けて、安全で快適な歩行空間を形成するため、横断歩道橋を整備します。

- 総事業費 491,520 千円
(令和3年度 254,340 千円)
(令和4年度 237,180 千円)
- 県が整備する横断歩道橋への整備負担金
- 市が整備するウイングデッキの詳細設計
- 事業箇所 桜町



ウイングデッキ(イメージ)

(仮称)北屋敷公園整備事業

4,429 千円

子どもの遊び場、高齢者の健康増進の場、地域住民の憩い・交流の場などを創出するため、(仮称)北屋敷公園を整備します。

- 用地測量 約 3,400 m²
- 都市計画決定・都市計画事業認可の取得
- 事業箇所 野田町

市道01-40号線他道路新設改良事業 (刈谷南北縦貫道路)

91,474 千円

慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制するため、バイパス機能を持った幹線道路を整備します。

- 総事業費 2,082,004 千円
(令和4年度 91,474 千円)
(令和5年度 555,730 千円)
(令和6年度 970,530 千円)
(令和7年度 464,270 千円)
- JR工事協定
- 橋りょう工事 (上部工)
- 事業箇所 逢妻町ほか



橋りょう (イメージ)

都市拠点活用推進事業

28,168 千円

市の玄関口としてふさわしい駅前空間の創出を目指し、刈谷駅周辺における道路や広場などの公共空間の活用を推進します。

- 刈谷駅北口周辺のイルミネーション
実施期間 11月中旬～1月中旬 (予定)
- 刈谷駅前線の活用調査分析
- (仮称)地域交流拠点施設の活用検討



魅力あふれる公園づくり事業

12,567 千円

誰もが行きたくなくなる魅力あふれる公園の実現に向け、主要な5箇所の公園(洲原公園、岩ヶ池公園、総合運動公園、亀城公園及びフローラルガーデンよさみ)を対象に、それぞれの特徴を生かした将来構想を策定します。

- 将来構想説明資料の作成

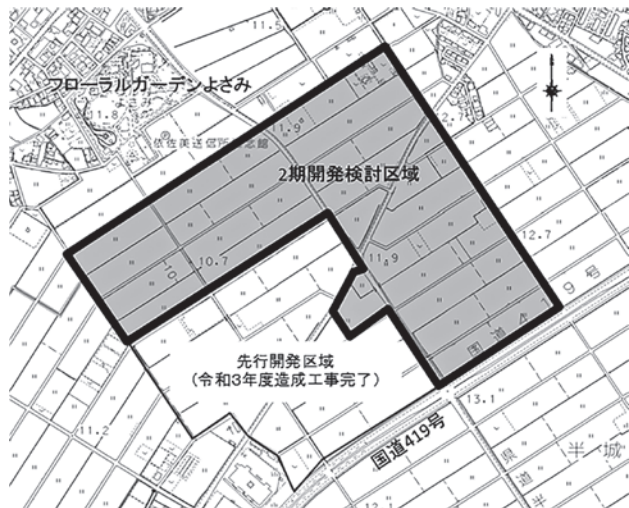


企業立地推進事業

22,716 千円

刈谷依佐美地区において、周辺の優良農地との共存を図りながら、新たな産業集積を促す一団の工業用地を整備するため、2期開発区域の事業実施に向けた設計及び企業誘致を行います。

- 開発検討面積 約 27ha
- 開発検討場所 高須町及び半城土町



産業イノベーション推進事業

36,000 千円

新たな産業やイノベーションの創出を図るため、企業人材や次世代を担う子どもたちの育成を中心とした多様なプログラムを実施します。

- オープンイノベーションを推進するセミナーなどの開催
- コワーキングスペースなどの整備運営

農業人材力強化総合支援事業

10,500 千円

新規就農者の確保と定着及び経営発展を図るため、就農計画の認定を受けた50歳未満の新規就農者を対象に経営開始資金の交付などの支援を行います。

- 就農直後の不安定な経営を支えるための経営開始資金の交付

- (1) 交付額 年間 150万円
- (2) 期間 最長 3年間

- 経営発展に必要な機械や施設などの導入に対する補助

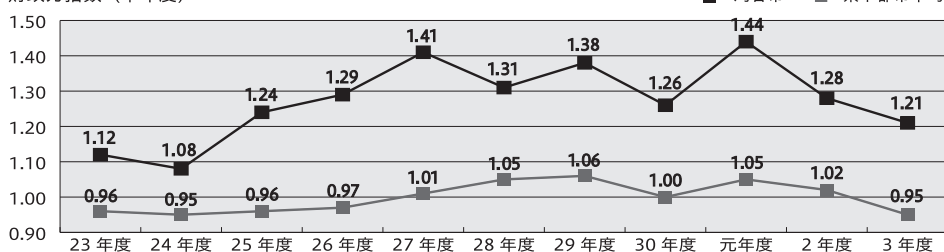
- (1) 補助率 4分の3
- (2) 上限額 750万円（ただし、経営開始資金の交付を受ける場合は375万円）

主な財政指標の推移

(1) 財政力指数

地方公共団体の財政上の能力を示す指数で、1を超えるほど財政に余裕があります。

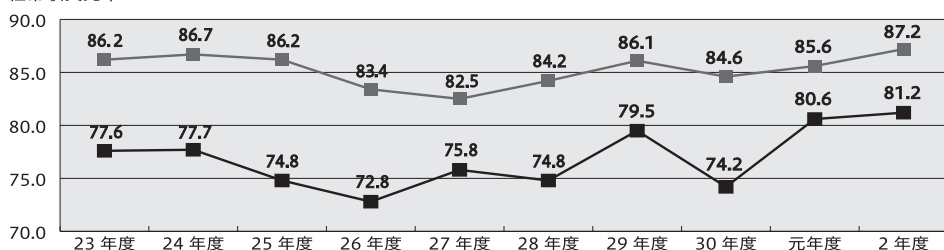
財政力指数（単年度）



(2) 経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾力性を測る指標で、人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に市税などの一般財源がどの程度充てられているかをみるもので、この比率が増加すると財政運営は硬直化します。

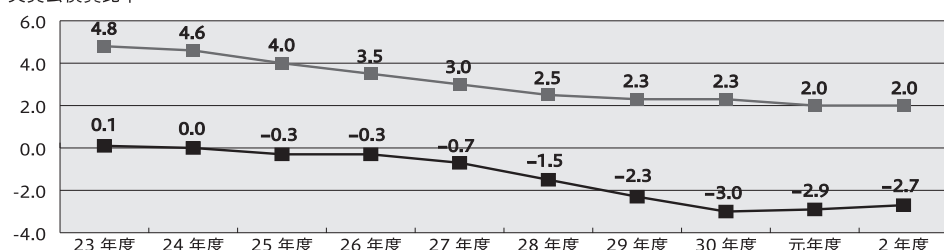
経常収支比率



(3) 実質公債費比率

一般会計や特別会計、企業会計の公債費に広域連合や一部事務組合における公債費を加えた実質的な公債費が、財政に及ぼす負担割合を直近の決算年度を含めた3年平均で表した指標で、この比率が低いほど財政が健全であるといえます。

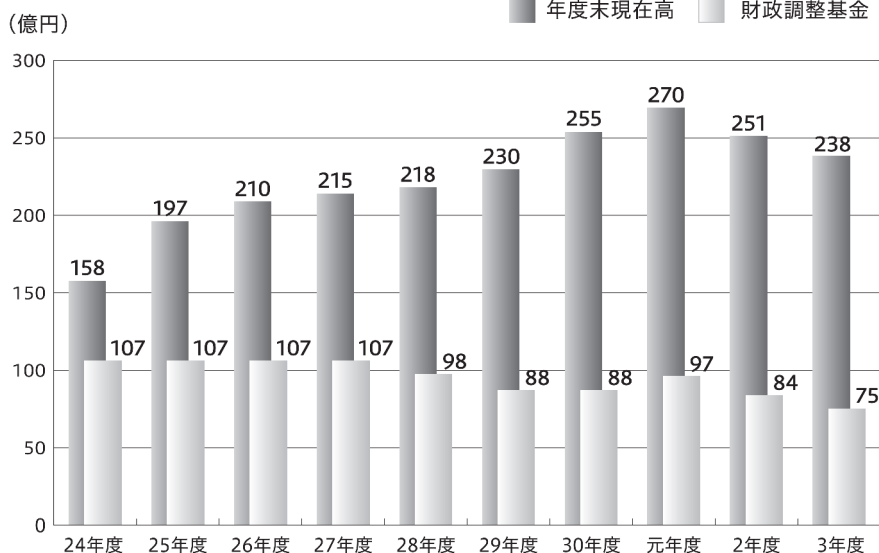
実質公債費比率



基金の状況

基金の現在高は、令和3年度末現在で、約238億4,700万円です。その内訳は、財政調整基金（約75億3,100万円）、公共施設維持保全基金（約62億1,400万円）、都市交通施設整備基金（約58億1,200万円）が主なものです。

基金現在高の推移



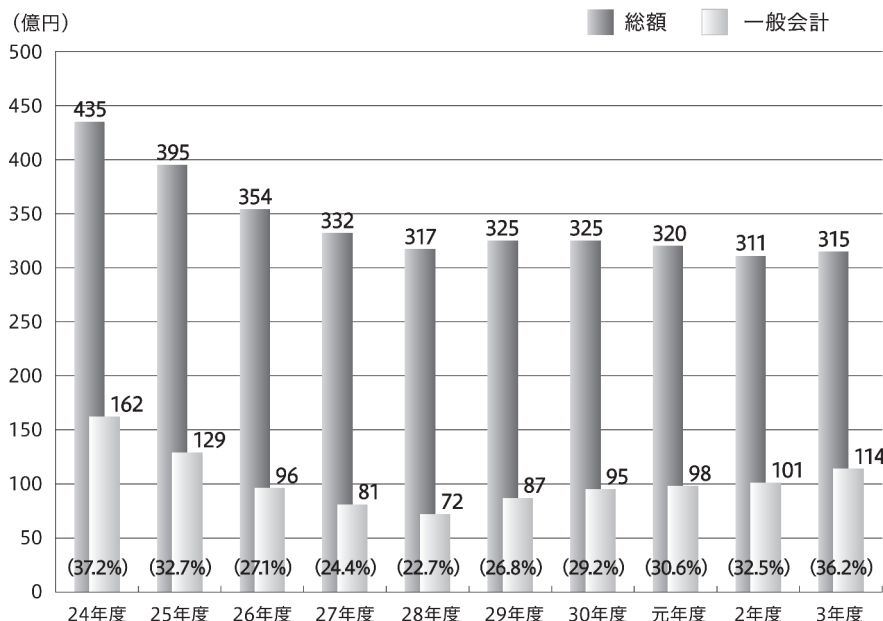
(単位：百万円)

基金名	現在高
財政調整基金	7,531
国際交流振興基金	226
美術品等購入基金	595
地域福祉基金	273
国民健康保険基金	270
介護保険基金	721
緑化推進基金	317
市民活動支援基金	8
亀城公園等整備基金	1,671
公共施設維持保全基金	6,214
一般旅券収入印紙購入基金	10
都市交通施設整備基金	5,812
産業立地促進基金	200
合計	23,848

市債の状況

市債の現在高は、令和3年度末現在（見込み）で、約315億3,000万円です。そのうち、一般会計は、約114億1,000万円で36.2%を占めています。企業会計では、下水道整備の進展により下水道事業会計が大きな割合を占めています。

市債現在高の推移

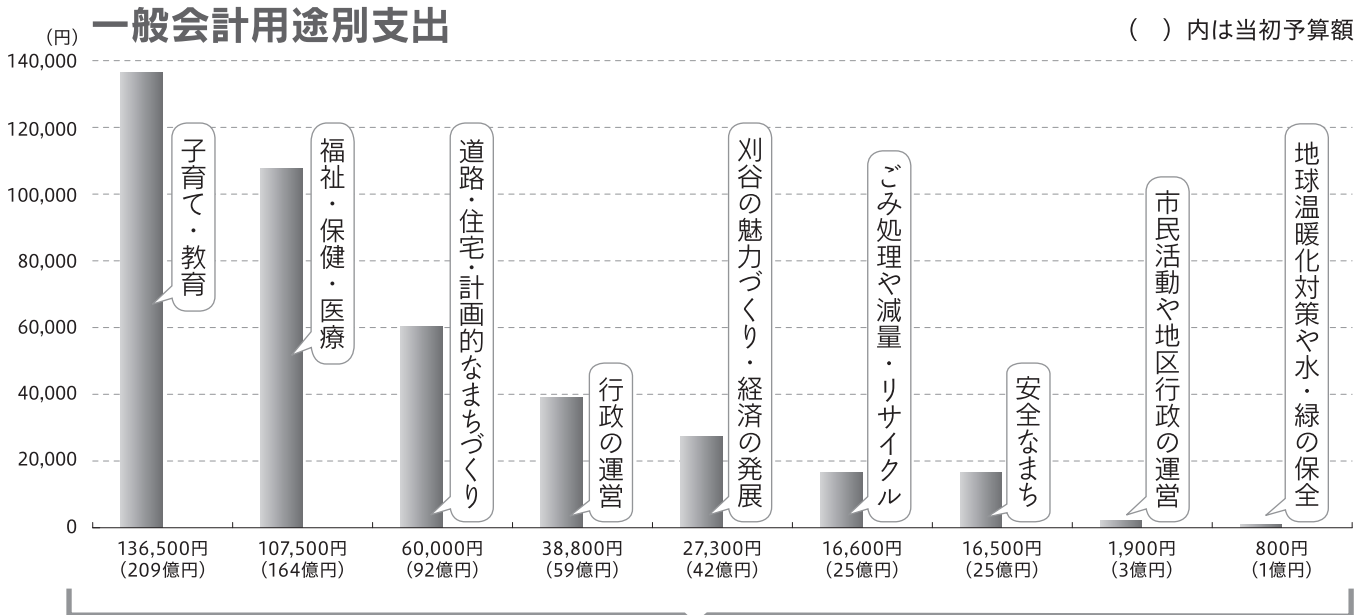


(単位：百万円)

会計名	現在高
一般会計	11,410
特別会計	30
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業会計	30
企業会計	20,090
水道事業会計	2,919
下水道事業会計	17,171
合計	31,530

市民 1 人当たりの予算額（用途別）

刈谷市の令和 4 年度予算総額 620 億円を、市民 1 人当たり（令和 4 年 4 月 1 日現在の人口 152,751 人）に換算すると 405,900 円となります。これは、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな目的の用途に使用されています。用途の中で最も多いものが、子育て・教育分野で 136,500 円、次に福祉・保健・医療分野に 107,500 円、そして、道路・住宅・計画的なまちづくり分野に 60,000 円の順となっています。なお、金額は端数を調整しています。



市民 1 人当たりに使われる予算額 **405,900** 円 一般会計予算額 620 億円

刈谷市の家計簿

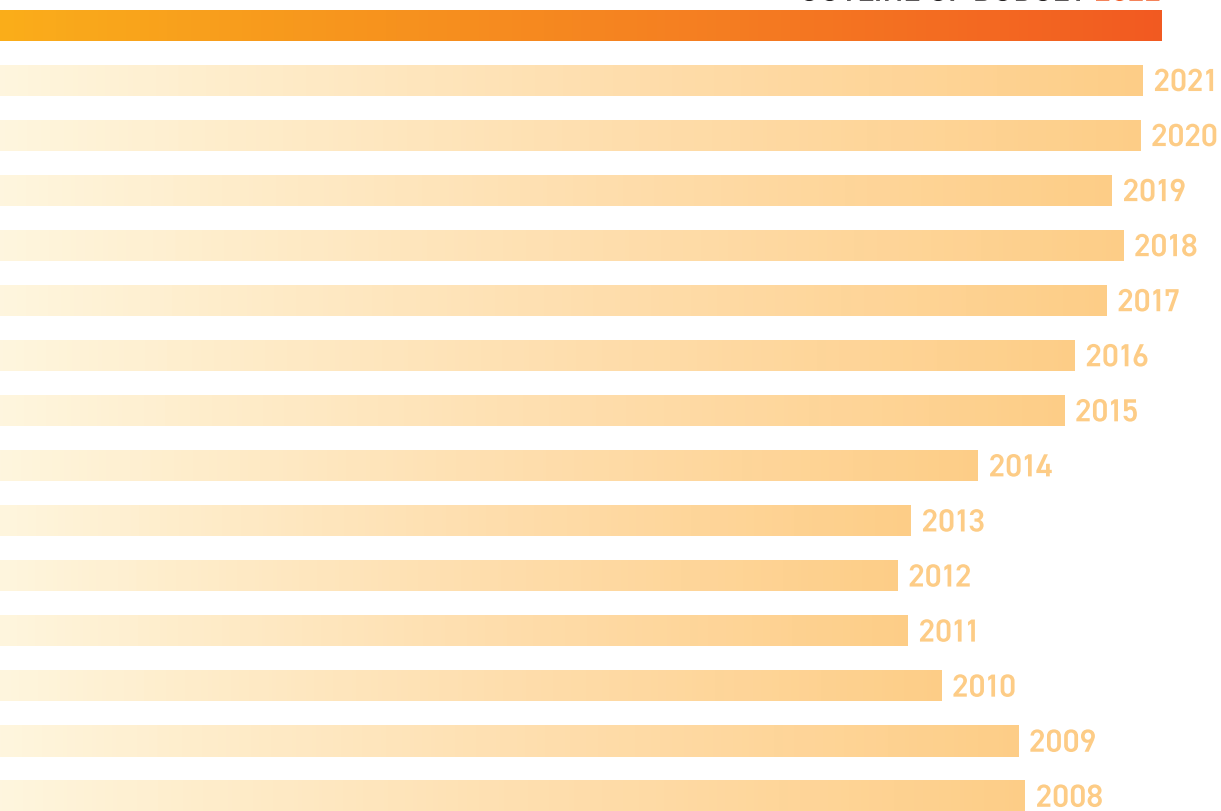
刈谷市の令和 4 年度一般会計当初予算を、年収 520 万円 (月収 43 万 3,000 円) のご家庭に例えて、1 カ月の家計簿を作成しました。

刈谷市の 1 カ月の家計簿

収入		支出	
給与	290,000 円	食費 (人件費)	81,400 円
基本給 (市税)	249,000 円	医療費、保育料など (扶助費)	97,000 円
諸手当 (地方譲与税、県税交付金など)	41,000 円	家のローン返済 (公債費)	9,100 円
家の修繕代の助成金、奨学金など (国県支出金)	79,000 円	家財道具の買替え、家の修繕費など (施設等整備費、維持補修費)	83,700 円
パート収入、家財の売却による収入など (使用料、手数料、財産収入、繰入金、諸収入)	49,000 円	光熱水費、日用品、教育費など (行政運営費)	127,900 円
家の修繕や車の買替えのための銀行からの借金 (市債)	15,000 円	1 人暮らしの家族への仕送り (繰出金)	33,900 円
合計	433,000 円	合計	433,000 円

家族の医療費 (高齢者・児童福祉などの扶助費)、ローンの返済 (公債費)、食費 (人件費) の 3 つは、「義務的経費」と呼ばれています。この「義務的経費」が多いことは、一般家庭のエンゲル係数 (家計における食費の占める割合) が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。刈谷市の歳出総額に占める義務的経費の割合は約 4 割であり、県内市町村の平均割合約 5 割と比較すると低く、健全な財政であることを示しています。

OUTLINE OF BUDGET 2022



- この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。
- この印刷物はAランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。